

川口市教育大綱・教育振興基本計画策定に向けたアンケート 結果概要

(目次)

第1部 調査概要	2
1. 回答状況	2
第2部 児童生徒本人・市立高校生調査	3
1. 回答者の属性	3
2. 学校生活や日常の状況 [共通設問]	4
3. 勉強について [小・中学生]	7
4. 中学校への進学について [小・中学生]	8
5. 高校における学びについて [高校生]	8
第3部 幼児・児童生徒保護者調査	10
1. 回答者の属性	10
2. ご家庭での子育てについて [幼児保護者]	11
3. 小学校への進学について [幼児保護者]	11
4. お子さんの通う小・中学校について [児童生徒保護者]	12
5. 子育て・教育に関する周知の状況 [共通設問]	13
6. 保護者の生涯学習等に関する状況 [共通設問]	13
第4部 教員調査	16
1. 回答者の属性	16
2. 勤務先の学校の職場環境	17
3. 職場環境・教育環境の改善について	18
4. 勤務先の学校の教育環境	19

第1部 調査概要

1. 回答状況

- 各調査の回答件数は、下表の通りです。

調査区分	回答件数	対象者数（参考）	対象者区分	回答率（参考）
児童生徒本人 （小4～中3）	17,357 件	28,182 人	悉皆 ※1	61.6%
市立高校生本人 （高1～高3）	716 件	1,307 人	悉皆 ※1	54.8%
幼児保護者 （4～6歳）	577 件	2,000 人	無作為抽出	28.9%
児童生徒保護者 （小1～中3）	11,203 件	30,251 人	悉皆 ※2	37.0%
教員	1,490 件	2,493 人	悉皆 ※1	59.8%

※1 5/1 時点の人数

※2 1家庭で複数アカウントを登録しているため参考値

- 各調査の最大標本誤差は下表の通りです（対象者毎の集団母数と回答件数から算出）。
- いずれも±5%を下回っており、サンプルサイズは問題ないと考えられます。

調査区分	回答件数	集団母数（参考）	最大標本誤差
児童生徒本人 （小4～中3）	17,357 件	28,182 人	±0.5%
市立高校生本人 （高1～高3）	716 件	1,307 人	±2.5%
幼児保護者 （4～6歳）	577 件	12,756 人※	±4.0%
児童生徒保護者 （小1～中3）	11,203 件	30,251 人	±0.7%
教員	1,490 件	2,493 人	±1.6%

※幼児保護者の母数は、該当年代（4～6歳児）の住民基本台帳人口としている

◎本調査は、一部悉皆調査で行っているものの、全員からの回答が得られていないため、回答結果において標本誤差を考慮する必要があります。本調査は、母集団比率の推定において、信頼度を95%として信頼区間を設定（同一の調査を100回行えば95回まではこの結果になるであろうという推定）し、標本誤差を算出しています。この場合、最大標本誤差が±5%に収まれば調査結果として問題ない数値であるとされています。

第2部 児童生徒本人・市立高校生調査

1. 回答者の属性

問1（小・中学生）／問1（高校生） 学年 [単数回答]

- 学年について、小・中学生では、「小学4年」～「小学6年」が各2割弱、「中学1年」「中学3年」が15%前後、「中学2年」が11.9%となっています

◇回答状況の割合（%）

小4	小5	小6	中1	中2	中3	無回答
19.7	18.7	18.6	15.0	11.9	16.0	0.1

- 高校生では、「高校1年」「高校2年」が各4割台半ば、「高校3年」が10.5%となっています。

◇回答状況の割合（%）

高1	高2	高3
46.1	43.4	10.5

問2（小・中学生） 通う学校 [単数回答]

- 10地区別にみると、小学校では青木地区が1,490件（全体の15.1%）と最も多く、比較的少ない中央地区・新郷地区でも500件前後の回答があります。中学校では戸塚地区が1,212件（全体の16.3%）と最も多く、比較的少ない中央地区・青木地区では300件弱となっています。

2. 学校生活や日常の状況 [共通設問]

問3 (小・中学生) / 問2 (高校生) 学校に行くのが楽しいか [単数回答]

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が、小学生、中学生、高校生ともに87～89%となっています。
- 一方で、「当てはまる」のみの割合は、概ね学年が上がるほど低くなっています。

◇「当てはまる」の割合 (%)

小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
53.8	49.5	49.7	51.3	47.5	49.0	45.2	41.5	45.3

問4 (小・中学生) / 問3 (高校生) 友達関係に満足しているか [単数回答]

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が、小学生、中学生、高校生ともに91～94%となっています。
- 一方で、「当てはまる」のみの割合は、小学4年から中学1年にかけてと、中学3年から高校2年にかけて、学年が上がるほど低くなっています。

◇「当てはまる」の割合 (%)

小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
70.3	65.9	60.4	57.9	57.7	58.5	54.2	50.8	57.3

問5 (小・中学生) / 問4 (高校生) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか [単数回答]

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が、小学生で74.6%、中学生で79.8%、高校生で78.1%となっています。

問6 (小・中学生) / 問5 (高校生) 自分には、よいところがあると思うか [単数回答]

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が、小学生で83.4%、中学生で83.0%、高校生で87.7%となっています。
- 小・中学生調査においては、「学校に行くのが楽しいと思う」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」のそれぞれと、「自分にはよいところがあると思うか」の間に関係性がみられます。自己肯定感の向上に向けて、楽しく・不安なく学校生活を送るための環境づくりが必要だと考えられます。

◇各項目と「よいところがあると思うか」の相関係数（関係性の強さ）

※各項目について、「当てはまる」を4点～「当てはまらない」を1点と割り振って算出

強さ	項目（相関係数）
正の相関 (0.3 以上)	「学校に行くのは楽しいと思う(0.34)」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる(0.31)」
やや弱い正の相関 (0.2～0.3)	「友達関係に満足している(0.27)」「体育の授業は好き(0.23)」「総合的な学習の時間は好き(0.22)」「国語の授業の内容はよく分かる(0.21)」「英語の授業の内容はよく分かる(0.21)」「算数・数学の授業の内容はよく分かる(0.20)」

問7（小・中学生）／問6（高校生） 学校以外でスポーツ・レクリエーションをどのくらいしているか [単数回答]

- 「週に1回以上」は学年が上がるほど低くなっています。

◇「週に1回以上」の割合（％）

小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
70.1	67.6	60.5	59.8	55.7	43.2	44.2	38.9	25.3

問8（小・中学生）／問7（高校生） 本市のスポーツに関する情報（オリンピックやパラリンピックに本市ゆかりの選手が出場することや、スポーツイベントの情報など）に関心があるか [単数回答]

- 「関心はある」「少し関心はある」の合計が、小学生で 55.7%、中学生で 53.4%、高校生で 43.0%となっています。

問8（高校生） 本市スポーツ・レクリエーション団体（スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会など）に参加し、活動することに関心があるか [単数回答]

- 「関心はある」「少し関心はある」の合計が、高校生で 28.5%となっています。

問9（小・中学生）（高校生） 「子どもの権利」について知っているか [単数回答]

- 「内容を知っている」が、小学生で 22.0%、中学生で 25.7%、高校生で 37.6%となっています。

問 10 (小・中学生) (高校生) さまざまな国の友だちと話したり、一緒に遊んだりしているか [単数回答]

- 「よくしている」「時々している」の合計が、小学生で 55.3%、中学生で 44.5%、高校生で 24.6%となっています。
- 小・中学生について地区別にみると、中央では、小学生・中学生とともに6割以上となっている一方、安行では小学生・中学生とともに4割未満となっているなど、2割台～6割台まで開きがみられます。

◇ 「よくしている」「時々している」の合計割合 (%)

	小学生	中学生		小学生	中学生
中央	67.6	60.1	神根	54.7	41.5
横曽根	66.1	56.6	芝	68.0	58.5
青木	62.0	56.4	安行	37.9	39.3
南平	50.9	39.7	戸塚	46.1	38.2
新郷	52.1	31.9	鳩ヶ谷	46.5	28.5

問 11 (小・中学生) (高校生) さまざまな国の友だちとの交流は楽しいと感じるか [単数回答]

- 「そう思う」「ややそう思う」の合計が、小学生で 80.5%、中学生で 79.4%、高校生で 76.9%となっています。
- 小・中学生について地区別にみると、安行地区の小学生で「そう思う」「ややそう思う」の合計が 72.9%とやや低くなっています。その他の区分においては全て 75～85%となっており、大きな差はみられません。

3. 勉強について [小・中学生]

問 12 (小・中学生) 読書が好きか [単数回答]

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が、小学生で 63.6%、中学生で 56.0% となっています。

問 13～問 17 (小・中学生) 国語、算数・数学、理科、社会、英語の授業の内容はよく分かるか [単数回答]

- 各教科の授業の内容がよくわかるかについて、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計は、国語、理科、社会で 85%前後、算数・数学と英語で 77～80%となっています。
- 学年別にみると、概ねいずれも学年が上がるほど「当てはまる」が低くなる傾向にあります。「当てはまる」が前の学年と比べて 5 ポイント以上下がる箇所として、下記が挙げられます。

◇内容がよくわかるに「当てはまる」割合が 5 ポイント以上下がる教科 (%)

国語	小学 6 年(38.6)→中学 1 年(32.4)
算数・数学	小学 4 年(50.6)→小学 5 年(45.4)／小学 6 年(43.2)→中学 1 年(38.2)
理科	小学 5 年(56.4)→小学 6 年(47.5)→中学 1 年(38.8)→中学 2 年(33.5)
社会	小学 6 年(54.7)→中学 1 年(35.3)
英語	中学 1 年(40.7)→中学 2 年(28.0)

問 18～20 (小・中学生) 体育、音楽、道徳の授業は好きか [単数回答]

- 各教科の授業が好きかについて、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計は、音楽・体育で 83～84%、道徳で 78.4%となっています。

問 21 (小・中学生) 総合的な学習の時間は好きか [単数回答]

- 総合的な学習の時間が好きかについて、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計は、88.2%となっています。

4. 中学校への進学について [小・中学生]

問 22～24 (小・中学生) 中学校進学時、「授業についていけるか」「友だちができるか」「新しい環境になじめるか」について、不安を感じるか(感じたか) [単数回答]

- 中学校進学時に「とても不安に思う(思った)」と「少し不安に思う(思った)」の合計は、「授業についていけるか」で56.1%、「新しい環境になじめるか」で49.6%、「友だちができるか」で39.3%となっています。

問 25～27 (小・中学生) 中学校に安心して進学するために、小学校で「中学校の授業や部活動の様子などを見学できる機会」「中学校の先生から話を聞いたり、勉強を教えてもらうような機会」「中学校の先輩から学校生活の様子を聞いたり、一緒に活動するような機会」があればよいと思うか(思ったか) [単数回答]

- 中学校進学時に「あると良い」と回答された割合は、「中学校の授業や部活動の様子などを見学できる機会」で81.6%、「中学校の先輩から学校生活の様子を聞いたり、一緒に活動するような機会」で73.8%、「中学校の先生から話を聞いたり、勉強を教えてもらうような機会」で67.2%となっています。

5. 高校における学びについて [高校生]

問 28 (高校生) 高校生活をとおして、どのような力を身につけたいと思うか[複数回答・○は3つまで] [単数回答]

- 高校生活をとおして身につけたい力としては、「自ら考え、判断し、問題を解決する力」「色々なことに果敢にチャレンジする力」「希望する職業に必要な知識や技能」「主体的に学び続ける力」が4割台となっています。

◇高校生活をとおして身につけたい力

項目	割合
自ら考え、判断し、問題を解決する力	47.6
色々なことに果敢にチャレンジする力	46.2
希望する職業に必要な知識や技能	46.1
主体的に学び続ける力	44.3
新しいアイデアを考える創造力	27.8
多様な他者と連携・協働する力	24.6
情報化、国際化等の社会の変化に対応できる力	12.2
地域や社会の課題解決に貢献できる力	4.2

問 29 (高校生) 高校における学びについて、どのようなことがより充実したら良いと思うか[複数回答・○は3つまで] [単数回答]

- 高校における学びについて、どのようなことがより充実したら良いと思うかとしては、「基礎・基本を確実に身につけるための学びの充実」「実社会での活動に向けて、学んだ知識を総合的に活用し考える学びの充実」が3割台後半となっています。

◇高校生活をとおして身につけたい力 (%)

項目	割合
基礎・基本を確実に身につけるための学びの充実	39.1
実社会での活動に向けて、学んだ知識を総合的に活用し考える学びの充実	38.4
将来役立つ資格取得に向けた学びの充実	33.0
外国語教育に関する学びの充実	25.4
スポーツの知識や技術、体の健康など保健体育に関する学びの充実	20.0
プログラミングやネットワークについての知識や技術など情報技術の活用に関する学びの充実	17.3
世界での活躍も視野に外国語で学んだり、国内外の文化や国際理解に関する学びの充実	17.0
音楽、美術、書道などの芸術分野における知識や技術に関する学びの充実	15.1
理数教育に関する学びの充実	14.1
オンラインやICT 機器を積極的に活用した学びの充実	11.7
学校と企業や市町村などが連携して、身近な地域の活性化などに実践的に取り組む学びの充実	6.3
産業構造の変化や技術革新に対応した知識や技術に関する学びの充実	4.7
帰国生徒や外国人生徒が日本で力を発揮できるようにする学びの充実	2.1

第3部 幼児・児童生徒保護者調査

1. 回答者の属性

問1（幼児保護者）（児童生徒保護者） 保護者の年齢 [単数回答]

- 保護者の年代について、幼児保護者では「30歳代(54.2%)」「40歳代(38.8%)」の順、小学生保護者では「40歳代(55.8%)」「30歳代(25.6%)」の順、中学生保護者では「40歳代(56.0%)」「50歳代(21.2%)」の順に多くなっています。

問2（幼児保護者） お子さんの通園・通所状況 [複数回答]

- 通園・通所状況について、「主に幼稚園に通っている」が48.9%、「主に保育所に通っている」が51.5%、「主に家庭で過ごしている」が4.3%となっています。

問2（児童生徒保護者） お子さんの学年 [複数回答]

- 小・中学生保護者調査におけるお子さんの学年については、小学1年～中学3年がそれぞれ13～18%ずつとなっています。

問3（幼児保護者） お住まいの地区 [単数回答]

問3（児童生徒保護者） お子さんが通う学校／地区 [複数回答]

- 10地区別にみると、幼児保護者では横曽根地区が73件（全体の12.7%）と最も多く、中央地区、新郷地区、安行地区では50件以下となっています。小学生保護者では鳩ヶ谷地区が1,157件（全体の13.8%）と最も多く、比較的少ない中央地区・新郷地区では約400件となっています。中学生保護者では青木地区が748件（全体の15.6%）と最も多く、比較的少ない中央地区・新郷地区では160～170件となっています。

2. ご家庭での子育てについて [幼児保護者]

問 4～13 (幼児保護者) ご家庭での子育てについて、次のことを心掛けているか [単数回答]

- 子育てについて心掛けていることとしては、ほとんどの項目で「心掛けている」「まあ心掛けている」の合計が9割台となっていますが、項目によって若干の差がみられます。また、「毎日できるお手伝いをさせるようにしている」については65.0%となっています。

◇「心掛けている」「まあ心掛けている」の合計 (%)

項目	割合
できない部分は手を貸して、できるところはほめて励ましている	98.3
良いこと、悪いことを示すようにしている	98.1
お子さんについて早寝早起きをして、朝ごはんを食べさせるようにしている	97.4
まわりの大人があいさつの手本になるようにしている	96.9
子どもの目を見て話を聞くようにしている	94.6
子どもの「なぜ？」を一緒に考えている	94.3
文字や数などに触れる場面を大切にしている	92.0
物の置き場や片付け方を決めている	90.3
戸外での遊びを子どもと一緒に楽しむようにしている	88.7
毎日できるお手伝いをさせるようにしている	65.0

3. 小学校への進学について [幼児保護者]

問 16～19 (幼児保護者) 小学校進学時、「授業についていけるか」「友だちができるか」「新しい環境になじめるか」「集団での生活や行動ができるか」について、不安を感じるか [単数回答]

- 小学校進学時に「とても不安に思う」と「少し不安に思う」の合計は、「新しい環境になじめるか」で68.1%、「授業についていけるか」で62.9%、「友だちができるか」で54.8%、「集団での生活や行動ができるか」で51.3%となっています。

問 20～22（幼児保護者） 小学校に安心して進学するために、小学校で「子どもが学校の授業や行事を見学したり、授業を体験する機会」「子どもが小学校の先生と話をしたり、遊んでもらえるような機会」「子どもが小学生と話をしたり、遊んでもらえるような機会」があればよいと思うか [単数回答]

- 小学校進学時に「あると良い」と回答された割合は、「子どもが小学生と話をしたり、遊んでもらえるような機会」で93.7%、「子どもが学校の授業や行事を見学したり、授業を体験する機会」で93.1%、「子どもが小学校の先生と話をしたり、遊んでもらえるような機会」で91.4%となっています。

4. お子さんの通う小・中学校について [児童生徒保護者]

※本項目については、選択肢「小学校の子どもはいない」「中学校の子どもはいない」「不明・無回答」を母数から外して集計しています。

問 4（児童生徒保護者） 学校の教育活動に満足しているか [単数回答]

- 「満足している」「まあ満足している」の合計が、小学校の教育活動について84.2%、中学校の教育活動について76.4%となっています。

問 5（児童生徒保護者） 先生は子どものことをよくわかってくれるか [単数回答]

- 「満足している」「まあ満足している」の合計が、小学校について82.6%、中学校について72.8%となっています。

問 6（児童生徒保護者） 先生は子どもをきちんと指導してくれるか [単数回答]

- 「満足している」「まあ満足している」の合計が、小学校について84.3%、中学校について74.8%となっています。

問 7（児童生徒保護者） 先生は子どものことを相談しやすいか [単数回答]

- 「満足している」「まあ満足している」の合計が、小学校について74.9%、中学校について61.9%となっています。

問 8（児童生徒保護者） 学校からの情報提供はできているか [単数回答]

- 「満足している」「まあ満足している」の合計が、小学校について81.0%、中学校について71.5%となっています。

問 9（児童生徒保護者） 学校・地域・保護者との協力・連携はできているか [単数回答]

- 「満足している」「まあ満足している」の合計が、小学校について69.2%、中学校について57.7%となっています。

5. 子育て・教育に関する周知の状況 [共通設問]

問 14 (幼児保護者) / 問 10 (児童生徒保護者) 「子どもの権利」について知っているか [単数回答]

- 「子どもの権利」について内容を知っている割合は、幼児保護者で 31.9%、小学生保護者で 34.8%、中学生保護者で 34.4%となっています。

問 15 (幼児保護者) / 問 11 (児童生徒保護者) 市と県で進めている子育ての目安である「3つのめばえ」について知っているか [単数回答]

- 市と県で進めている子育ての目安である「3つのめばえ」について内容を知っている割合は、幼児保護者で 6.4%、小学生保護者で 12.0%、中学生保護者で 10.9%となっています。

問 12 (児童生徒保護者) お子さんの問題について悩んだときの相談先について知っているか [単数回答]

- 「子ども教育相談」と「いじめ相談テレフォン」について、「知っている・相談したことがある」「聞いたことはあるが、相談したことはない」の合計は、いずれも約 90%となっています。

6. 保護者の生涯学習等に関する状況 [共通設問]

問 23 (幼児保護者) / 問 13 (児童生徒保護者) 本を読むことが好きか [単数回答]

- 「大いに好き」「多少好き」の合計が、幼児保護者・児童生徒保護者とも 7割台となっています。

問 24 (幼児保護者) / 問 14 (児童生徒保護者) 知識を広げたり、経験や技能を高めたりする生涯学習活動に関心や興味があるか [単数回答]

- 「関心・興味はある」「少し関心・興味はある」の合計が、幼児保護者・児童生徒保護者とも約 9割となっています。

問 25 (幼児保護者) / 問 15 (児童生徒保護者) 芸術活動全般に関心や興味があるか [単数回答]

- 「関心・興味はある」「少し関心・興味はある」の合計が、幼児保護者・児童生徒保護者とも 7割台となっています。

問 26 (幼児保護者) / 問 16 (児童生徒保護者) 文化財保護や地域に根付く伝統的文化の保存・継承に関心や興味があるか [単数回答]

- 「関心・興味はある」「少し関心・興味はある」の合計が、幼児保護者で 55.3%、児童生徒保護者で 64.2%となっています。

問 27 (幼児保護者) / 問 17 (児童生徒保護者) 川口市人材バンク「魅学(みがく)」に関心や興味があるか [単数回答]

- 「関心・興味はある」「少し関心・興味はある」の合計が、幼児保護者・児童生徒保護者とも4割台前半となっています。

問 28 (幼児保護者) / 問 18 (児童生徒保護者) スポーツ・レクリエーションをどのくらいしているか [単数回答]

- 「週に1回以上」の割合は、幼児保護者で38.1%、小学生保護者で25.4%、中学生保護者で22.0%となっています。
- 年代が上がるほど「週に1回以上」の割合が下がる他、同年代で比べて「幼児保護者」より「児童生徒保護者」の方が低くなっています。

◇区分・年代別の「週に1回以上」の割合(%)

幼児保護者		児童生徒保護者	
10～30歳代	41.4	20・30歳代	26.8
40歳代以上	33.9	40歳代	22.9
		50歳代以上	20.4

問 29 (幼児保護者) / 問 19 (児童生徒保護者) 本市のスポーツに関する情報(オリンピックやパラリンピックに本市ゆかりの選手が出場することや、スポーツイベントの情報など)に関心はあるか [単数回答]

- 「関心・興味はある」「少し関心・興味はある」の合計が、幼児保護者で46.8%、児童生徒保護者で53.9%となっています。

問 30 (幼児保護者) / 問 20 (児童生徒保護者) 本市スポーツ・レクリエーション団体(スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会など)に参加し、活動することに関心はあるか [単数回答]

- 「関心・興味はある」「少し関心・興味はある」の合計が、幼児保護者・児童生徒保護者とも約4割となっています。

問 21 (児童生徒保護者) 地域の活動に参加しているか [単数回答]

- 参加している活動について、「PTA」が33.5%、「町会」が31.6%となっています。また、「参加したいが、参加できる状況ではない」は17.3%、「参加していない(参加する気持ちはない)」は20.7%となっています。
- 地区別にみると、PTAについては「南平地区(小学校・中学校とも)」「戸塚地区(中学校)」で45%以上と高く、「安行地区(小学校・中学校とも)」「青木地区(中学校)」で25%以下と低くなっています。

- 町会については、「神根地区（小学校）」で40%以上と高く、「戸塚地区（小学校・中学校とも）」で20%以下と低くなっています。
- また、「南平地区（小学校）」で子ども会が30.0%、「中央地区（小学校）」で学校応援団が8.2%と、それぞれ他の地区と比較して高くなっています。

◇地域活動の参加状況（%）

項目	割合	項目	割合
P T A	33.4	おやじの会	1.8
町会	31.6	その他の活動	6.3
子ども会	14.4	参加したいが、参加できる状況ではない	17.3
川口市スポーツ少年団	8.1		
学校応援団	4.0	参加していない（参加する気持ちがない）	1.8

第4部 教員調査

1. 回答者の属性

問1（教員） 現在の勤務先 [単数回答]

- 勤務先について、「小学校」が974件、「中学校」が445件、「高等学校」が69件となっています。

問2（教員） 現在の職名 [単数回答]

- 職名について、「教諭・助教諭・実習助手」が1,240件となっています。

◇職名ごとの件数（件）

項目	件数	項目	件数
校長	56	養護教諭	54
副校長・教頭	67	栄養教諭	12
主幹教諭	36	非常勤講師	21
教諭・助教諭・実習助手	1,240		

問3（教員） 通算の教員経験年数 [単数回答]

- 経験年数について、「5年以下」が383件、「6～10年」が277件、「11～20年以下」が437件、「20年以上」が391件となっています。

2. 勤務先の学校の職場環境

問4～9（教員） 職場環境についてどのように感じているか [単数回答]

- 職場環境について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計は、小学校、中学校・高等学校ともに、全項目が8～9割台と高くなっています。
- 全項目で「校長・副校長・教頭・主幹教諭」の割合が「それ以外の職位」を上回っています。

◇「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計割合（％）

項目	勤務先別		職位別	
	小学校	中学校・ 高等学校	校長・副校 長・教頭・ 主幹教諭	左記以外
チームワークを発揮している	94.8	89.7	100.0	92.2
中堅層・管理職層がリーダーシップを発揮している	92.0	88.5	98.1	89.9
教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている	95.3	91.2	98.1	93.4
教員同士で仕事や仕事以外のことでコミュニケーションをとっている	93.6	88.1	95.6	91.2
経験年数の長い教員が短い教員からの提案や意見に耳を傾けている	94.1	87.9	94.9	91.6
教員が一丸となって指導力の改善を図ろうとしている	91.3	80.7	96.2	86.6

3. 職場環境・教育環境の改善について

問 10～14（教員） 職場環境・教育環境の改善についてどのように感じているか [単数回答]

- 職場環境・教育環境の改善について、「そう思う」「どちらかといえば思う」の合計は、小学校、中学校・高等学校ともに、「保護者との関わりや地域との連携を行う十分な時間をとりたい」を除いて9割台となっています。
- 「保護者との関わりや地域との連携を行う十分な時間をとりたい」については職位別の差が大きく、「校長・副校長・教頭・主幹教諭」で90.5%、「それ以外の職位」で73.5%となっています。

◇「そう思う」「どちらかといえば思う」の合計割合（%）

項目	勤務先別		職位別	
	小学校	中学校・高等学校	校長・副校長・教頭・主幹教諭	左記以外
日常的になっている長時間勤務や休日出勤を改善したい	92.4	90.7	96.2	91.2
教科指導に必要な知識・技術の習得等の自己啓発を行う時間的な余裕が欲しい	97.4	94.2	99.4	96.0
教材研究を行う時間的な余裕が欲しい	97.0	94.7	96.9	96.1
児童生徒からの話を傾聴する十分な時間をとりたい	96.8	94.2	98.7	95.6
保護者との関わりや地域との連携を行う十分な時間をとりたい	79.2	68.2	90.5	73.5

4. 勤務先の学校の教育環境

問 15～35（教員） 教育環境についてどのように感じているか [単数回答]

- 教育環境について、「そう思う」「どちらかといえば思う」の合計は、「いじめ防止対策の取組ができています」「児童生徒の人権を尊重した教育ができています」「子どもたちの安心・安全の確保ができています」「教育相談体制が整っている」「児童生徒の健やかな体の育成に向けた健康の保持・増進の取組ができています」は小学校、中学校・高等学校ともに85%以上と高くなっています。
- 一方で、「グローバル化に対応する教育ができています」「技術革新や時代の変化に対応する教育ができています」「児童生徒に主体的に社会の形成に参画する力の育成ができています」「日本語指導や学力に課題のある児童生徒への適切な支援ができています」は小学校、中学校・高等学校ともに7割以下と低くなっています。
- 職位別にみると、「児童生徒一人ひとりを確実に伸ばす教育ができています」「グローバル化に対応する教育ができています」「生徒指導体制が整っている」「教員の資質能力の向上を支援する取組ができています」「学校組織運営の改善と働きがいのある職場づくりが進んでいる」の5項目で、「校長・副校長・教頭・主幹教諭」と「その他の職位」の差が10ポイント以上となっています。

◇「そう思う」「どちらかといえば思う」の合計割合（％）

項目	勤務先別		職位別	
	小学校	中学校・高等学校	校長・副校長・教頭・主幹教諭	左記以外
児童生徒一人ひとりを確実に伸ばす教育ができています	72.6	69.7	81.2	70.3
児童生徒に新しい時代に求められる資質・能力の育成ができています	70.4	66.8	70.5	69.0
グローバル化に対応する教育ができています	52.5	52.7	61.6	51.4
技術革新や時代の変化に対応する教育ができています	60.9	58.9	64.8	59.7
児童生徒に主体的に社会の形成に参画する力の育成ができています	63.4	59.9	69.9	61.2
配慮を要する児童生徒への適切な支援ができています	73.1	76.9	82.4	73.3

◇「そう思う」「どちらかといえば思う」の合計割合（％）【続き】

項目	勤務先別		職位別	
	小学校	中学校・ 高等学校	校長・副校 長・教頭・ 主幹教諭	左記以外
日本語指導や学力に課題のある 児童生徒への適切な支援ができ ている	68.5	56.6	73.0	63.4
児童生徒の豊かな心を育む教育 ができている	86.8	81.3	90.5	84.1
生徒指導体制が整っている	85.5	79.4	93.7	82.1
児童生徒の人権を尊重した教育 ができている	94.6	89.8	94.9	92.8
児童生徒の健やかな体の育成に 向けた健康の保持・増進の取組 ができている	89.5	88.3	95.0	88.3
児童生徒の体力向上と学校体育 活動の取組ができている	82.5	88.4	88.1	84.0
特色ある学校づくりが進んでい る	75.6	70.8	82.4	72.8
教員の資質能力の向上を支援す る取組ができている	73.3	65.4	81.2	69.3
学校組織運営の改善と働きがい のある職場づくりが進んでいる	77.2	68.8	87.4	72.7
子どもたちの安心・安全の確保 ができている	91.5	89.0	95.0	90.2
いじめ防止対策の取組ができ ている	94.6	92.9	97.5	93.5
不登校児童生徒への支援ができ ている	83.7	84.0	91.2	83.0
教育相談体制が整っている	90.7	89.7	92.5	90.0
学校・家庭・地域が一体となった 教育体制が整っている	74.6	65.0	75.5	70.7
地域の教育的資源の活用が進ん でいる	67.9	44.3	64.8	59.1